

道

2020・8・26

通信 No 1599



ヒツジグサ (別名スイレン)

9月9日(水)の夜間練習開始です!

初日 9月9日(水曜日) 6時~9時

場所 吉野町市民プラザホール

指揮者 小坂幸世先生 ピアノ 二宮悠太先生

練習曲 鶴 百万本のバラ マロースカ

持参物 楽譜 マスク着用 会場費300円 筆記用具

9月5日より団費3000円集金開始します。
9月5日はTパートの担当者は欠席です。
その旨ご承知ください。

6:00~6:10	運営委員は早めに集合 椅子27脚 受付机2本準備 出席簿に各自で○をつける(自分の鉛筆で記入してください) 参加費300円を集金用の容器に入れる(パート関係なく投入してください) 道通信を取る 前半組はホール入り口より入り、SATBの順に着席下さい
6:10~7:25	前半組練習 (指揮者・ピアニストは舞台上)
7:25~7:35	前半組は退室。 後半組 名簿チェック・参加費投入・道通信取得後ホール外の廊下で待機 ※前半組出口と後半組の入り口は別。運営委員の指示に従ってください。
7:35~8:50	後半組練習 (指揮者・ピアニストは舞台上)
8:50~9:00	片付け(椅子27脚・受付机2本) 解散

リレーエッセイが始まって作文の苦手な私のところにはどうかバトンが廻ってきません様に祈っていましたソプラノの古屋です。

ところで今から20数年前「神奈川県だより」の広報欄に~横浜でロシア民謡を中心に歌い続ける~ 合唱団「道」 団員募集の記事が掲載されていました。即連絡先に問い合わせをしました。「私、あまり音符が読めませんが歌う事は大好きです」とすると係の方が「そんなことは気にしないで! 読める人ばかりではないからと言われその言葉に勇気づけられ早速見学に行きました。

九月一八日。土砂降りの雨でした。元団員で長い事一緒に歌っていた佐々木節子さんと他二名の方がいらしていました。緊張の余り他の事はよく覚えていませんが、見学に行ったつもりが帰りには歌集四冊持っていました。それからは中山先生のロシア民謡への情熱的なお話しに引き込まれ楽しく練習させて戴きました。合宿、定期演奏会、演奏旅行、道草コンサート、忘年会、レクリエーション、交流会(月末練習後)など。この間家族の理解と協力に支えられ「道」を第一に優先させて生活を送ってきました。感謝です。

だがコロナ禍により当たり前だった日常が奪われこんなに永く歌う事とその大好きな仲間たちにお会いできないなんて考えてもなかったです。感染拡大防止に心掛け、今私たちができることをしっかり守りコロナ禍を一日も早く収束させ 以前のように歌えることを願っています。

それでは九月五日(土) 元気にお会いしましょう。熱中症にも気をつけてネ。バトンはB丸山秀之様にお渡ししました。ソプラノ 古屋恵子

《運営委員会》 9月2日(水) 3時00分~ 県民サポートセンター